

平成23年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1470801208	事業の開始年月日	平成18年3月1日	
		指定年月日	平成18年3月1日	
法人名	社会福祉法人 横浜長寿会			
事業所名	グループホーム めくもりの家・金沢文庫			
所在地	( 236-0014 ) 横浜市金沢区寺前2丁目23-35			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
定員等	認知症対応型共同生活介護	宿泊定員	名	
		定員計	9	名
		ユニット数	1	ユニット
自己評価作成日	平成23年12月26日	評価結果 市町村受理日	平成24年3月5日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1470801208&amp;SCD=320">http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1470801208&amp;SCD=320</a>
----------	---

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「金沢文庫」で有名な称名寺に近い、温かみのある伝統的な住宅地にあります。地域の活動も活発で、参加できるものには参加させていただきながら、また、お散歩を通して顔見知りになった御近所の方々に声をかけていただきながら、地域に根付いた生活を送っています。

” ゆっくり・ゆったり・私らしく ” を理念に置き、おひとりお1人が自分らしさや誇りを持ち、「ホッ」と安心でき、人のぬくもりを感じながら生活を送っていただけるよう、スタッフ一同心をこめてサービスを提供させていただいております。

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4階		
訪問調査日	平成24年1月26日	評価機関 評価決定日	平成24年2月14日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

「めくもりの家・金沢文庫」は京急金沢文庫駅から徒歩約12分の称名寺、県立金沢文庫近くの古くからの住宅街の中にあります。2階建て鉄骨造りの1階部分を認知症グループホーム、2階を障がい者グループホームとして使用しています。

<優れている点>  
職員は利用者が自然でゆったりとした普通の生活を送ることができるよう努めています。利用者それぞれのペースに合わせたり、気持ちに添うことにより、特別なことをすることなく、毎日心地よく過ごせるよう取り組んでいます。また「自分でもここに入りたい」というホーム作りを目指し、常にマンネリ化しないような気遣いを心がけ、言葉づかい、話しかけ方などにも気をつけており、1日の生活が「ゆっくり、ゆったり、自分らしく」という自然な流れの中で送ることができるようになっています。

<工夫している点>  
安全確認のため、玄関、電気、水道などの点検を1日3回行い業務日誌に書き込んでいます。職員全員で話し合い、業務マニュアルを作成しました。1日の業務の流れの中の留意点をあげ、理念の実践が職員によって差が出ないように努めています。頻繁な職員会議や、月1回個別対応会議を行い、職員全員での情報の共有、意見のくみ取りを図っています。話し合われた事柄は利用者の介護計画へ反映したり、業務の改善に役立てています。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム めくもりの家・金沢文庫
ユニット名	

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	<b>理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	開所時に職員皆で考えた理念を今現在も引き継いでおり、会議の場や日常の中で言葉にし、確認しながら実践へとつなげています。	新しい職員は入職時に開所時より引き継がれている理念の説明を受けると共に先輩職員と一緒に日常業務を行いながら理念の実践を図っています。頻繁に行われる職員会議、介護の現場などで理念の確認が行われ実践に移しています。	
2	2	<b>事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し、地域行事への参加を声をかけてもらい参加しています。また、日々の散歩や、近所の商店への買い物等で、声をかけたりかけてもらったりと、顔見知りの関係が出来ています。	運営推進会議が開催されるようになり、自治会・地域包括支援センターで行われる行事への案内・参加が増えてきています。地域の運動会では体操をしたり競技に参加したりして地域の住民と一緒に楽しむことができます。	
3		<b>事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域行事への参加や日常生活での地域の方々との自然なふれあいを通して、認知症の方々への理解を得ていただけるように取り組んでいます。		
4	3	<b>運営推進会議を活かした取り組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を通してグループホームの活動状況を知っていただき、ご家族や地域の方々からの評価・助言をもとに、より地域とつながりながらサービスを提供できるように取り組んでいます。	町内会長・民生委員・地域包括センター・入居者家族・法人本部の参加を得て6月、9月に運営推進会議を開催しました。会議では活動状況報告を行い出席者からは建物内の点検、2階法人との合同防災訓練などの助言と地域の運動会への参加の誘いなどがありました。	
5	4	<b>市町村との連携</b> 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	行政から案内のあった各種研修に参加をしています。また、困難なケース等担当ケースワーカーに相談し訪問をしていただいたりとしながら、関係を築くようにしています。	金沢区徘徊高齢者SOSに登録し連携して協力しています。また利用者同士のトラブルなど微妙な問題がある時には担当ケースワーカーに相談し訪問を受けたりし、市担当者に連絡を取り実情を伝え協力関係を築くよう努めています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修に参加し身体拘束が起す弊害を理解していくとともに、ご利用者一人一人の思いを職員が共有し、身体拘束をしないケアを提供できるように取り組んでいます。	身体拘束を起こすことが無いよう、声のかけ方、「認知症の人とのコミュニケーション」などを随時会議などで話し合っています。今年度は「1日の流れの業務マニュアル」を作成しケアの留意点を明記し声のかけ方、コミュニケーションの取り方などにバラツキがでないよう工夫しています。	
7		<b>虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	研修に参加し虐待についての理解を深めるとともに、会議の中でも話し合う機会を設け、虐待をしないケアに努めています。		
8		<b>権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修に参加し、学ぶ機会を設け、理解し、必要に応じ支援につなげていけるように努めています。		
9		<b>契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に契約内容や重要事項についての説明を行い、ご家族やご利用者の入居に対する不安や心配事等お聞きしながら、安心して入居していただけるようにしています。		
10	6	<b>運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族来訪時や電話、お手紙等で何でも話せる関係づくりを行い、意見・要望・苦情等何でも伝えていただけるように働きかけています。また、日常の会話の中でご利用者の意見・要望等聞き漏らさないようにし、会議の中で話し合い、サービスへとつなげています。	家族の来訪時、電話、月に1回のお手紙等で利用者の近況を詳しく伝え、家族からも話をしやすい関係を作るよう努めています。家族からの話は介護記録、申し送りノートに記載し職員全員が確認するようになっており、サービスの変更、改善につなげています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	議題について職員より意見をつのり、定期的に会議を開き、情報交換やサービス提供について話し合う場を設け、運営に反映させています。	頻繁に行われる職員会議などで管理者と職員の意見交換、情報交換などがしやすい環境を作っています。今年度は職員全員で話し合い「同じ考え方」の統一のための業務マニュアルを作成しました。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	法人の経営会議や役職者会議において運営状況の報告・点検を行い、職員の勤務状況や労働環境等の問題・課題について検討をし、職場の環境整備を行い職員が育成・成長できるように、やりがいを持って仕事に臨めるよう取り組みをすすめています。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人の人材育成推進委員会の取り組みにより、人材の育成・成長への取り組みを強化している。法人外部への研修は勤務体制の関係で制限されてしまうところがあるが、法人内部の集合研修をすすめています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	横浜市のグループホーム連絡会に加入し、研修を通し情報交換を行い、サービスの質を向上させていくよう取り組んでいます。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	見学や事前の面接でご本人のご様子を知り、不安や戸惑いを和らげていただけるように努めています。また、ご利用開始時にご様子を細かく記録し、職員間で情報を共有ししながら、何でも話せる関係づくりをし、安心して生活を送っていただけるように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご様子をこまめにお伝えし、ご家族の不安・要望等聞いていくとともに、ご利用者との関係を築いていくことで安心感を持っていただけるように努めています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前にご利用者やご家族の思い、生活習慣、趣味、嗜好等お聞きし、必要なサービスを提供できるように努めています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	個々のそれまで培ってきたもの、今出来ることを大切にしながら、また、人生の先輩として教えていただくことも多く、感謝の気持ちを伝えながら、共に暮らす関係作を築いています。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご利用者の様子をこまめにお伝えするとともに、ご家族の思いをきちんと聞き、互いに協力しながらご利用者の生活を支えていけるよう、関係づくりを行っています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	気持ちよく来訪していただけたら、ご利用者へ電話をしていただけるように配慮し、馴染みの関係を継続できるように努めています。	来訪者にはお茶出ししたり、差し障りのない程度の利用者の様子をお話ししたりして次回もまた気持ちよく来ていただけるよう努めています。また近所の商店や天気の良い日に行っている散歩時の挨拶等を通して新しい馴染みの関係を作りつつあります。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日常の会話や散歩、生活の営みの中で、互いに協力し、理解しあい、馴染みの関係を築いていけるよう努めています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご利用が終わった後も、ご様子をお聞きしたり、訪問したりしながら、経過をフォローできるように努めています。		

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常の関わりの中で、思いや要望をくみ取っていくとともに、ご家族からも情報をいただきながら、希望や意向の把握に努めています。	利用者との日常の関わりの中で、話しかけ方、誘い方、時間などを利用者に合わせて変え、できるだけ思いや要望をくみ取れるよう努めています。来訪された家族には、お茶出ししながら利用者、家族の希望、意向を伺ったりしています。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前にご本人の生活歴の情報を得るとともに、日々の関わりの中で知ったこと等を申し送りや会議の中で職員が情報を共有していけるよう努めています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	会話や表情、毎日の観察、働きかけにより変化を見逃さないように、記録や会議等利用し、現状の把握に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>ご本人やご家族から日々の暮らしへの要望を聞くとともに、会議の中で個々について話し合い、より良い生活を送っていただけるように介護計画を作成しています。</p>	<p>日頃の職員の話し合いや、申し送りノート、個別対応会議などを参考に利用者や家族の要望を取り入れた介護計画を作成しています。また、介護計画に沿った日課計画表も作成し、その人らしい生活が送れるよう配慮しています。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎日のバイタルや食事摂取量、お過ごしの方等記録に残し、情報を共有し、会議の中で話し合い、実践につなげています。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>管理者はいつでも動ける状況に置き、その時必要なニーズに柔軟に対応できるように取り組んでいます。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の美容院やお店を利用し、また、散歩等利用し馴染みの関係を築くことで、地域の中で生活をしていくことを大切にしながら支援しています。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居前からのかかりつけ医を継続されている方や、往診に来ていただいている方等、一人一人の要望をお聞きし、かかりつけ医を決めています。かかりつけ医には管理者が付き添ったり、ご家族へ情報をお伝えし、適切な医療を受けられるよう支援しています。</p>	<p>入居前のかかりつけ医、月2回の訪問医、近所の医院にかかっている利用者がいます。通院には管理者が付き添っています。受診状況は申し送りノートや介護記録に記録すると共に家族にも知らせています。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の健康観察をしっかりと行い、受診時にかかりつけ医に報告するとともに、緊急時にはかかりつけ医に相談し、速やかに適切な医療を受けることができるように支援しています。		
32		<b>入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には職員が同行し、必要な情報をお渡しし、安心して入院治療ができるように支援しています。入院中はこまめに病院へ様子を伺いに行き、退院時には医師からのムンテラをご家族とともに聞く等しています。		
33	12	<b>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化しつつあるご利用者については、ホームで出来ることと出来ないことを説明し、ご家族・主治医等と相談しながら方針を立て、職員でそのことを共有しながら支援しています。	ご家族・本人の意向で事業所として対応できるだけ対応するという状況にある重篤な利用者がおられます。管理者は主治医からこれから起こるであろう利用者の様子、状況、医療の事などの説明を受け職員と共有しています。主治医・家族と相談しながら今後も支援することになっています。	現在重篤な状態の利用者がおられる中、早急に看取りについてのマニュアル、職員の研修等、看取りの体制を整えられることを期待します。
34		<b>急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生時には管理者へすぐに連絡をとれる体制をとり、指示に従い動けるようにしています。		
35	13	<b>災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	運営推進会議において災害時の避難場所をアドバイスいただき、また、訓練を重ねることで問題点を把握し、十分な対策をとれるようにしていきます。	障がい者・高齢者防火防災安全研修会に参加し職員で情報を共有しています。消防署への直通電話・消火器・誘導灯などの設置がされています。震災以降、水、非常用米などの備蓄が3日分あります。	今年度は避難訓練が実施されていません。消防署、2階の障がい者グループホーム、地域の住民を交え実施されることを期待します。またスプリンクラーの設置も関係者と協議されることも期待されます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	会議の中でも言葉かけ等確認しながら、ご利用者の誇りやプライバシーを損ねない、一人一人に合った言葉かけや対応を心がけています。	一人一人の誇りやプライバシーを尊重し、気持ちよく、心地よく過ごせるような対応や言葉掛けを心がけています。管理者や職員は日々のケアの中でそれらが実践されているかお互いに確認しあっています。また「個人情報に関する基本方針」を定め職員会議で周知徹底を図っています。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	話しやすい雰囲気を作り、会話や表情からご本人の思いをくみ取り、意向に沿った暮らしをしていただけるように支援しています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事の時間や入浴の時間帯はあるが、その日の体調や気分、意向をくみ取りながら、一人一人のペースを大切に支援しています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご利用者の好みを知り、お好きな服装やおしゃれをしていただけるように支援しています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人一人のできることを大切にしながら、食材を切ったり、盛り付けをしたり、後片付けを一緒にしていただけるように感謝の気持ちを表しながら働きかけています。	献立は食材業者のものを基に作られていますが、誕生日や行事食、外食には利用者の希望が反映されています。味付けや盛り付け、配膳、下膳など一人一人が出来ることを手伝っています。食事が合わないという利用者には外部のお弁当を試すなど臨機応変に対応しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<b>栄養摂取や水分確保の支援</b> 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立の作成と食材の配達を外部に委託し、カロリーと栄養バランスのとれた食事の提供をしています。また、熱いものが好きな方、ぬるめが好きな方、味の好み、咀嚼力等把握し、一人一人に応じた支援をしています。		
42		<b>口腔内の清潔保持</b> 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時、毎食後に声かけを行い、介助の必要な方へはできない所を支援し、口腔ケアに努めています。		
43	16	<b>排泄の自立支援</b> 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	申し送りや会議等で一人一人の排泄パターンを職員で共有し、トイレでの排泄を基本に支援しています。	トイレでの排泄を基本に支援しています。一人一人の排泄パターンの情報を職員間で共有し、介助が必要な人には本人の様子や時間をみてトイレに誘導しています。夜間は時間を見計らって声掛けをしますが、眠りが深い人にはオムツで対応することもあります。	
44		<b>便秘の予防と対応</b> 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の散歩等の運動や、水分摂取に気をつけ、便秘がちな方へはかかりつけ医へ相談し、便秘薬の調整を行いながら便秘の予防に取り組んでいます。		
45	17	<b>入浴を楽しむことができる支援</b> 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	毎日入浴できる体制をつくり、早い時間に入りたい方、そうでない方、毎日入りたい方、そうでない方、入浴したことを忘れて一日2回入る方等、個々に合わせて入浴していただいています。	基本的な回数や、曜日、時間は決めずに、一人一人が望むような入浴を支援しています。リハビリパンツやパッドを使用している人には毎日の入浴を勧めています。湯温や入浴順序にも気を配り、入浴拒否をする利用者には声掛けや誘い方を工夫しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	早起きの方、遅くまで寝ていたい方、早く眠りたい方、夜更かしの方等、一人一人の生活習慣を把握し、休んでいただいています。また、巡回により安眠状態の把握に努め、眠れないときにはしばらく一緒にお話しし、安心していただけるように支援しています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人一人の薬の説明書を閲覧できるようにしておき、薬が変わった時には申し送りを行い、症状の変化を記録する等し、職員が共有できるように努めています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	散歩や体操・レクリエーション、近所への買い物等、個人の希望に合わせて行い、気分転換や楽しみを持っていただけるよう支援しています。また、回覧板を届けていただいたり、洗濯物を畳んでいただいたり、役割を持つことで張り合いを持っていただけるように支援しています。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日はご希望に沿って職員と一緒に散歩に行ったり、買い物へ行ったりできるように支援している。また、ご家族と墓参りや旅行など行かれている方もいます。	天気の良い日には、近所を散歩したり、買い物に出かけています。歩行困難な人には車いすで対応しています。また外出先では地域の人から声をかけられるなど良好な関係を築いています。近隣の幼稚園からひな祭り等の行事に招待されて参加することもあります。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	しまい忘れてたり、なくしてしまうこともあるということをご家族には理解していただき、ご自分でお小遣いを持ち、近所へ買い物をしに出かけられる方もいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をかけたいときには子機をお持ちし、自室でゆっくりとお話できるように支援しています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭的な家具を置き、ホッとできるような空間を作るよう心がけています。また、置物や飾りつけ等で季節を感じられるように工夫しています。	居間は採光がよく明るく、浴室、トイレは広く使いやすくなっています。居心地良い空間、集まりやすい雰囲気を作るように心掛けており、利用者同士の関係にも配慮し居心地よく過ごせるように工夫しています。環境整備、防火確認の為、1日3回4ヶ所を点検してホーム内を整えています。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングではご利用者同士思い思いにお話をされており、一角にソファを置き、一人になりたい時や他の方と離れていたい時など過ごせる場を設けています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に今までお使いになられ愛着のあるものをお持ちいただくようお話をしています。必要なものはご家族にお話しし、お持ちいただいています。	入居時には本人が使っていた物、愛着がある物をお持ちくださるようアドバイスしています。居室にはテレビやベッド、座り心地のよいソファを置き、壁にはお気に入りのカレンダーや写真を飾り居心地のよい室内にしています。大きな窓は掃き出し型で自由に庭へ出られます。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	共有部分のカレンダーは、過ぎた日を消していき、今日が何日かわかるようにし、お部屋のドアにはそれぞれのお好きな目印を張る等工夫しています。		

### 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	今年度は避難訓練が未実施である	消防署や地域住民の方、同じ建物内の障がい者グループホーム方を交え、避難訓練を実施し、災害に対する対策をとっていく	同じ建物内の障がい者グループホームや地域の方に声をかけ、避難訓練を実施する。訓練の回数を重ね、問題点を把握し、改善することに努め、職員一人一人が災害に対する対策を取れるようにしていく	12ヶ月
2	13	法人の人材育成が具体的に始まり、事業所としても一人一人のケアの実際と力量を把握し、職員を育てられる(互いに育つ)環境をつくり、実践していく必要がある	職員一人一人が仕事にやりがいと、互いに成長していくという気持ちを持ち、成長することで利用者へのケアの質を上げていく	職員の定期面接実施や、法人の内部研修・外部の研修への参加 マニュアルを活用しながら今現在の一人一人のケアの実際と力量を把握し、成長して一けるように取り組んでいく	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。